



MORIOKA SHINKIN BANK
SINCE 1903



DISCLOSURE

2021



ディスクロージャー2021・盛岡信用金庫の現況
企業編



盛岡信用金庫



盛岡信用金庫プロフィール (2021年3月31日現在)

名 称	盛岡信用金庫
本店所在地	〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号
電話番号	019-623-2221
設 立	明治36年(1903年)1月19日
店 舗 数	23店舗
会 員 数	31,713人
出 資 金	18億93百万円
総 資 産	2,680億85百万円
預 金 残 高	2,532億65百万円
貸 出 金 残 高	1,284億96百万円
自己資本比率	8.44%
役 職 員 数	常勤役員 7名 職 員 224名

< CONTENTS >

盛岡信用金庫プロフィール	1
ごあいさつ	3~4
盛岡信用金庫と地域社会	5
事業の概況	6
事業の概況・取組み方針	7
SDGsへの取組み	8
地域密着型金融の取組み	9
お客さま満足度向上への取組み	16
各種手数料のご案内	17
店舗一覧	18

信用金庫法施行規則第132条及び第133条並びに金融庁告示による開示項目等については、別冊「ディスクロージャー2021・盛岡信用金庫の現況[資料編]」をご覧ください。当金庫では、本誌「ディスクロージャー2021・盛岡信用金庫の現況[企業編]」及び「ディスクロージャー2021・盛岡信用金庫の現況[資料編]」を盛岡信用金庫ホームページにて公開しています。パソコン、スマートフォン、タブレット端末などでご覧いただけます。



あなたのそばに
もっと身近に





< 経営理念 >

当金庫は、明治36年（1903年）の創立以来118年の永きにわたり、協同組織金融機関として共存同栄（地域に根ざし、地域と共に発展する）の精神のもと、一貫して「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念に歩んでまいりました。

地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関として、経営の健全性を確保し、より良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。

< 基本方針 >

中小企業と一般大衆の地域金融機関として、金融の円滑化を図り、地元産業経済の繁栄に奉仕し、もって日本経済の発展に貢献します。

Top Message

ごあいさつ

皆さまには、平素より私ども盛岡信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫に対する一層のご理解を深めていただきたく、「ディスクロージャー2021」を作成しましたので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

さて、地域経済・社会を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少といった構造的な問題に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、三度に亘る緊急事態宣言の発出により経済活動が大幅に制約され、飲食業や観光業を中心に大きな打撃を受け、景気が大きく落ち込みました。

過去に例を見ない厳しい環境下、当金庫では役職員が一丸となりお取引先である中小企業等の資金繰り支援に全力で取り組んでまいりました。

一方、新型コロナウイルスの変異株により再び感染が拡大傾向にあり、収束時期の長期化が懸念される中、お取引先に対しては、資金繰り支援に加え本業支援等を一層強化していくことが重要な課題となっております。

こうした状況の中、令和2年度の当金庫の業績につきましては、預金積金期末残高が2,532億65百万円となり前期比5.23%の増加、貸出金期末残高が1,284億96百万円となり前期比9.22%の増加となりました。その結果、業務純益5億29百万円、当期

純利益5億65百万円の増益決算となりました。また、本業の利益を示すコア業務純益は5億91百万円となり、平成29年度以降、4期連続して増益で推移しております。

金融機関の安全性・健全性を示す指標であります自己資本比率は、国内基準の4%を上回る8.44%を確保することができました。

令和3年度は、昨年度スタートした3カ年の中期経営計画『革新～innovation～情熱大陸作戦』の中間年度にあたりますが、さらなる経営基盤の強化を図り、持続可能なビジネスモデルの構築を行ってまいります。

当金庫は、これからも地域を守り、お客さまに寄り添い、さまざまな課題を解決するための良質な金融サービスの提供に努めてまいります。

それによって、地域の発展と皆さまの幸せに貢献できるよう、役職員が一丸となり取り組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

理事長 浅沼 晃

<経営方針>

収益力の強化

意欲と情熱をもって積極的に行動を起こし、攻めの営業に転じ収益力を強化し堅固な経営基盤の構築に努めます。

経営の安定と発展

常に健全経営を維持し、金融機関としての信用を高め、不断の発展を図ります。

社会への奉仕

地域社会ニーズへの対応を社会的責任と認識し、広く金融サービスの向上に努めます。

調和ある経営

会員、取引先との調和の取れた経営を行い、役職員との融和により、事業の組織的運営を行います。

働きよい職場

職員の創意を尊重し、人材の登用と資質の向上を図ります。

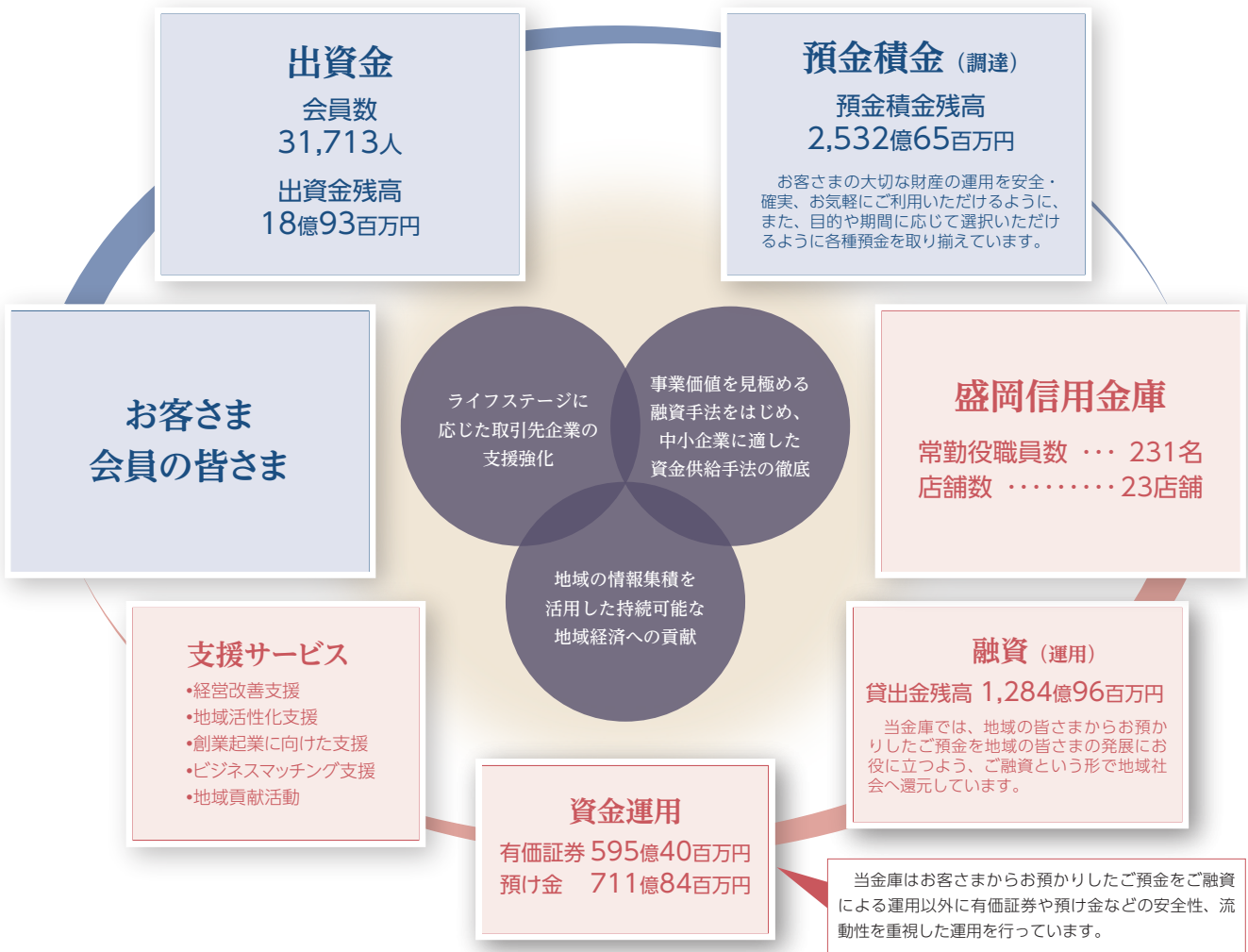
課題解決に向け信頼される金融機関へ

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、岩手県内全域を営業区域として、地元の中小企業者や地域の皆さまを会員として“共存同栄”（地域に根ざし、地域と共に発展する）の精神のもと運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客さまにご融資し、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や地域の皆さまとの強い「絆」とネットワークを形成し、地域社会の持続的発展に努めています。

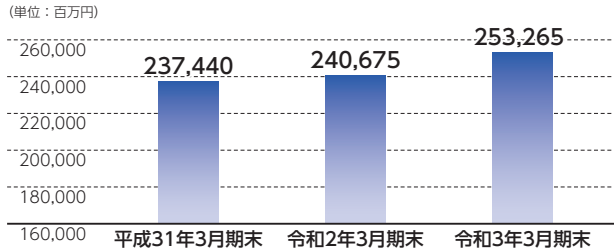
また、貸出金や預金などの金融機能の提供にとどまらず、地域を支える金融機関として「起業」「環境」「観光」を中心に、地域の皆さまの課題解決や地方公共団体との連携強化により、地域活性化へ積極的に取り組んでいます。



預金残高の推移

【預金】

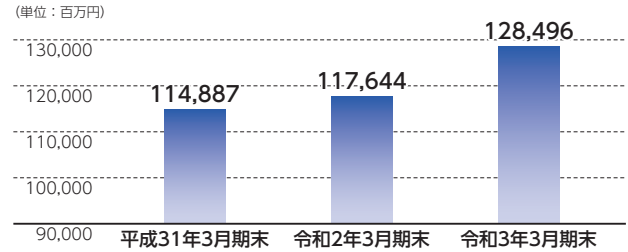
預金残高は、コロナ禍における企業活動の停滞、消費抑制等の影響等もあり一部に歩留まりが見られるなか、新規ご契約感謝期間キャンペーンの推進等に努めた結果、2,532億65百万円（前期比125億90百万円増加）となりました。



貸出金残高の推移

【融資】

新型コロナウイルス感染症の影響に対応する資金繰り融資の積極推進のみならず、事業先に対する課題解決型融資を積極的に推進し、資金ニーズの掘り起こしに努めた結果、貸出金残高は1,284億96百万円（前期比108億52百万円増加）となりました。

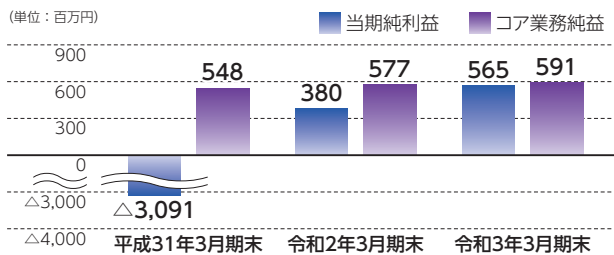


当期利益の推移

【収益】

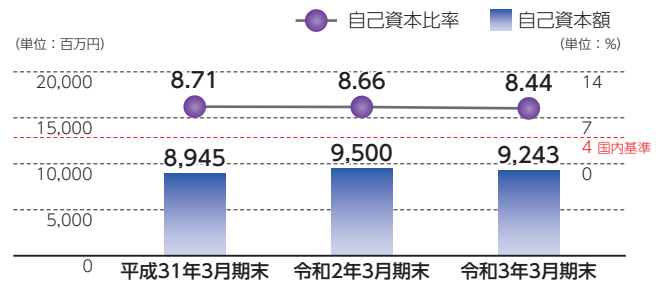
令和2年度の決算は、法人向け貸出金が増加したことなどから、当期純利益は5億65百万円（前期比1億85百万円増加）となりました。

金融機関の本来業務での収益力を示すコア業務純益は、5億91百万円（前期比14百万円増加）となり、4期連続して増益となりました。



自己資本比率

自己資本の額は、利益剰余金は増加したものの、一般貸倒引当金が減少したことにより92億43百万円（前期比2億56百万円減少）となりました。自己資本の額の減少により自己資本比率は8.44%（前期比0.22ポイント減少）となりましたが、国内で業務を行う金融機関に義務付けられている自己資本比率4%を大きく上回っており、経営の健全性については全く問題ございません。



自己資本の額

①コア資本に係る基礎項目の額	9,489百万円
・出資金及び資本剰余金の額	1,893百万円
・利益剰余金の額	7,350百万円
・外部流出予定額 (△) ※出資配当金	37百万円
・一般貸倒引当金	283百万円
②コア資本に係る調整項目の額	245百万円
自己資本の額①-②	9,243百万円



中期経営計画 革新～innovation～ 『情熱大陸』 作戦 2020.4～2023.3

コーポレートメッセージ
「あなたのそばに、もっと身近に」

経営ビジョン

- ①将来にわたる盛岡信用金庫の存続と発展（組織業務プロセスの視点）
- ②職員の声を反映した働きがいのある職場（風土・文化の視点）
- ③お客さま満足度の向上（顧客の視点）

基本方針

地域で信頼される信用金庫を目指し、お客さまに寄り添い、お客さまの課題を解決するための良質な金融サービスの提供を目指していきます。

そのためには、課題解決を担う人づくりを進め、外部機関と連携しながらお客さまの満足度向上を目指します。こうした積み重ねで、地域の信頼を得て、地域の発展・成長に貢献していきます。

- ①経営力・経営管理態勢の強化
- ②職員が働きがいを感じられる職場環境の整備と人材育成の態勢確立
- ③地域の支援力・営業力の強化

重点戦略 ①

経営力・経営管理態勢の強化

- (1) 経営力の強化
- (2) 経営管理態勢の強化

重点施策

- (1) 経営力の強化
 - ①適正利益の確保
 - ②健全性・透明性の向上
 - ③生産性・効率性の向上
 - ④企業風土改革への取組み
 - ⑤持続可能な社会の実現に向けた取組み「SDGs」宣言
- (2) 経営管理態勢の強化
 - ①内部管理態勢の強化
 - ②統合的リスク管理強化への取組み

重点戦略 ②

職員が働きがいを感じられる
職場環境の整備と人材育成の態勢確立

- (3) 金庫の将来のために

重点施策

- (3) 金庫の将来のために
 - ①職員の「将来ビジョン」の明確化および研修体系の構築
 - ②多面的評価制度の検討
 - ③人材確保に向けた取組み
 - ④人材育成に向けた取組み
 - ⑤働きがいのある職場環境の改善に向けた取組み

重点戦略 ③

地域の支援力・営業力の強化

- (4) 支援力の強化
- (5) 営業力の強化

重点施策

- (4) 支援力の強化
 - ①ライフステージに応じた支援
 - ②金融仲介機能の更なる発揮
- (5) 営業力の強化
 - ①地縁・人縁を活かした推進
 - ②営業推進体制の充実
 - ③企業間マッチング支援の拡大



もりしんSDGsマップ(HP掲載)

地域社会

当金庫は、地方創生に向け、次世代につながる賑わいのあるまちづくりの実現を目指し、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めています。

- 盛岡市立北小学校で「もりしんマナースクール(出前授業)」を開催しました。
- もりしんスペース「かごとしの世界展」たるまちゅんもからずのべんやんも大集合!へ特別協賛しました。
- 2020「み・仕事おこし」フェアを共催しました。
- 7第4回もりしん愛の部会運動2020を実施しました。

盛岡市と「地域」において支援を必要とする者の把握に関する協定を締結しました。

滝沢市と「地域」において支援を必要とする者の把握に関する協定を締結しました。

大赤町と「地域」において支援を必要とする者の把握に関する協定を締結しました。

二戸市と「地域」において支援を必要とする者の把握に関する協定を締結しました。

八幡平市と「八幡平市高齢者見守りネットワーク事業に関する協定」を締結しました。

滝野市と「地域見守り活動に関する協力協定」を締結しました。

紫波町と紫波町における地域の安全・安心と活性化に関する連携協定を締結しました。

八戸市と八戸市地域見守り協力事業に関する協定を締結しました。

第45回国際信用金庫「仮の札」-協働のツルム」応募作品展示会を開催しました。

第34回男子学生蹴球選手権大会「もりしんカップ」へ特別協賛しました。

第34回「二戸地区学生蹴球協会の学生蹴球大会」へ後援・協賛しました。

当金庫野球部が天皇杯第75回全日本軟式野球全国大会に出場しました。

盛岡市立北小学校で「もりしんマナースクール(出前授業)」を開催しました。

地域において支援を必要とする者の把握に関する協定 調印式

盛岡市立北小学校で「もりしんマナースクール(出前授業)」を開催しました。

もりしんスペース「かごとしの世界展」たるまちゅんもからずのべんやんも大集合!へ特別協賛しました。

2020「み・仕事おこし」フェアを共催しました。

7第4回もりしん愛の部会運動2020を実施しました。

地域環境

当金庫は、地域の環境保全に積極的に取り組めます。また事業活動においては、環境への負荷を減らすなど環境に配慮した適切な活動を行っています。

- 第4回国産企業への若づくり「もりしん共育同業の森」森林緑地保全活動を実施しました。
- グリーンボンド(債券)への投資を行いました。

もりしん SDGsマップ

盛岡信用金庫は、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」を金庫活動につなげ、地域社会の繁栄に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めています。

持続可能な開発目標SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは——
持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて採択された2030年までに持続可能な未来に向けた世界的な開発目標群です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身の課題もニールヤル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

地域経済

当金庫は、地域における課題解決に向け、地域内外などのパートナーと連携し、また共有価値を創造することで地域経済の持続可能な発展に貢献してまいります。

- 「もりおかSDGs投資事業有限責任組合(もりおかSDGsファンド)」を共同設立し、投資を行いました。
- 信金中央金庫・地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」による企業版ふるさと納税を活用した盛岡市への寄附を行いました。
- 第15回「ビジネスマッチ東北2021春」へ34企業・団体を推薦しサポートしました。
- 新幹線信用金庫協会と新幹線行政推進委員会「顧客支援等に関する連携協定」を締結しました。
- 「わいてあ」の文庫協会2020「共創し、7企業を推薦しサポートしました。
- 令和2年度「もりおかマツカナル商談会」に1企業を推薦しサポートしました。

もりおかSDGs投資事業有限責任組合(もりおかSDGsファンド)を共同設立し、投資を行いました。

信金中央金庫・地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」による企業版ふるさと納税を活用した盛岡市への寄附を行いました。

第15回「ビジネスマッチ東北2021春」へ34企業・団体を推薦しサポートしました。

新幹線信用金庫協会と新幹線行政推進委員会「顧客支援等に関する連携協定」を締結しました。

「わいてあ」の文庫協会2020「共創し、7企業を推薦しサポートしました。

令和2年度「もりおかマツカナル商談会」に1企業を推薦しサポートしました。

地域環境

当金庫は、地域の環境保全に積極的に取り組めます。また事業活動においては、環境への負荷を減らすなど環境に配慮した適切な活動を行っています。

- 第4回国産企業への若づくり「もりしん共育同業の森」森林緑地保全活動を実施しました。
- グリーンボンド(債券)への投資を行いました。

盛岡信用金庫

○「もりおかSDGsファンド」の設立

当金庫は、令和3年1月15日に盛岡市、滝沢市、矢巾町、FVC Tohoku株式会社と「もりおかSDGs投資事業有限責任組合」を設立しました。令和3年4月27日には、紫波町も加入しました。

当ファンドは、地域における社会課題の解決・SDGs、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域圏の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成および社会課題解決に取り組む企業へのリスクマネーの供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです。

当金庫では本ファンドを機に、SDGsの視点から社会課題解決を起点とした地域産業・企業の活力向上を目指し、地域の中小企業者への積極的な支援に努めていきます。



○「SCBふるさと応援団」

信金中央金庫 創立70周年記念事業「SCBふるさと応援団」は、信金中央金庫が企業版ふるさと納税の仕組みを活用した寄附を行い、地域経済社会の発展に貢献することを目的とした地域創生推進スキームです。

当金庫は、盛岡市が実施する事業「関係人口でつながる盛岡地元企業等応援プロジェクト」を推薦し、寄附対象事業として選考されました。

令和3年2月10日に寄附金贈呈式を執り行い、信金中央金庫より盛岡市に目録が贈呈されました。

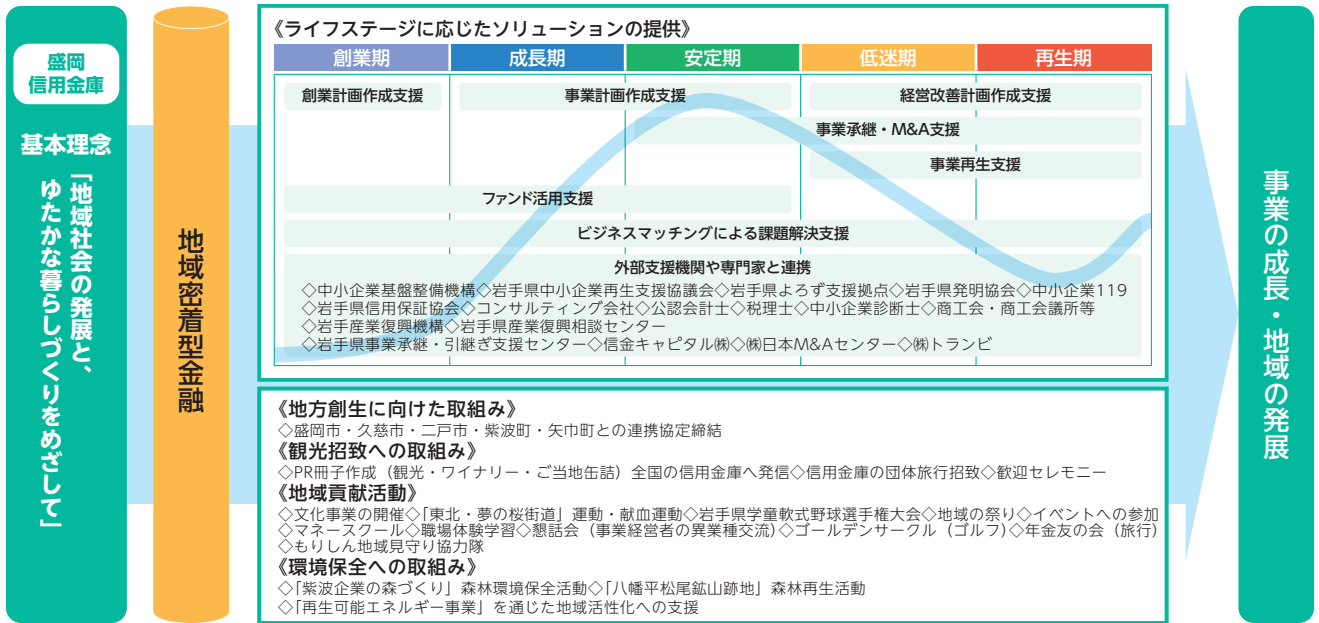
【スキームの概要】

名称	SCBふるさと応援団
目的	SDGsを踏まえ、信金中央金庫が企業版ふるさと納税等を活用した寄附を行うことにより、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を信用金庫とともに応援し、もって、地域経済社会の発展に貢献することを目的とする。
寄附金額	1事業あたり10百万円以内
対象事業	原則として、信用金庫の本店所在地の地公体が行う地域創生事業



地域密着型金融の取組み

当金庫は、「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念として、地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関を目指して、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。



事業支援・事業再生支援

中小企業の経営支援に関する取組み方針

- 地域金融機関の使命として、中小企業の事業活動の円滑な遂行とお客さまの生活安定のために、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努め、金融の円滑化に取り組んでまいります。
- 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生できるよう、各方面と連携して取り組んでまいります。
- 金融仲介機能を発揮し、お客さまのニーズや課題に応じた融資やソリューション（解決策）の提供を行うほか、外部支援機関や専門家と連携し、事業の成長や地域経済の活性化に貢献してまいります。
- 経営革新等支援機関（認定支援機関）として新規事業支援や事業再生支援のほか、事業再構築補助金、ものづくり補助金等の活用促進に努めてまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているお客さまから、資金需要や貸付条件の変更等のお申し出があった場合には、これまでと同様に経営課題に応じた最適な解決策をお客さまの立場に立って提案し、実行支援を行う態勢を整備しています。
- 「もりおか起業ファンド」を設立し、起業時の資金確保や事業経営の課題に対応する態勢を整備しています。
- 「もりおかSDGsファンド」を設立し、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者に対し、資金確保や事業経営の課題に対応する態勢を整備しています。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」を設立し、農業法人を出資や経営支援の面から支え、岩手県の基幹産業を支える農業の発展・活性化につながる支援を行う態勢を整備しています。
- FVC Tohoku株式会社（盛岡市産業支援センター指定管理者）へ、当金庫より職員を派遣し、起業・創業相談態勢の強化に努めています。
- 中小企業の経営改善および事業再生に向けて、本部に専門部署を設置し、独立行政法人中小企業基盤整備機構、岩手県中小企業再生支援協議会、岩手県よろず支援拠点、コンサルティング会社、公認会計士、税理士、中小企業診断士、地域の商工会・商工会議所等の外部支援機関や専門家と連携して、お客さまの抱える課題等に対応できる態勢を整備しています。
- 中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的に、株式会社日本政策金融公庫および株式会社商工組合中央金庫と「業務提携・協力に関する覚書」を締結し、当金庫と公的金融機関の機能や特性を活かしながら、お客さまの抱える課題の総合的な解決方法を提案できる態勢を整備しています。
- 東日本大震災により被害を受けた中小企業のために、岩手産業復興機構、岩手県産業復興相談センター等と連携して支援を行う態勢を整備しています。
- 事業承継、M&A仲介業務の強化策として、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター、信金キャピタル株式会社、株式会社日本M&Aセンター、株式会社トランビ、コンサルティング会社と連携して支援を行う態勢を整備しています。
- 中小企業の様々な経営課題解決の一助として、各種専門業者と連携して支援を行う態勢を整備しています。

中小企業の経営支援に関する取組み状況

- 「もりおか起業ファンド」の投資や、岩手県信用保証協会の制度融資等により、起業・創業支援に積極的に取り組んでいます。「もりおか起業ファンド」のファンド総額は1億円、設立からの投資金額は14社58百万円です。
- 「もりおかSDGsファンド」の投資により、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者の支援に積極的に取り組んでいます。「もりおかSDGsファンド」設立からの投資金額は3社10百万円です。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」の投資により、岩手県内の農業法人の発展・活性化支援に積極的に取り組んでいます。「とうぎん・もりしんアグリファンド」設立からの投資金額は2社35百万円です。
- 令和2年度は、重点支援対象先として32先を選定し、営業店と本部が連携して経営改善に努めたほか、岩手県中小企業再生支援協議会等の外部支援機関と連携して、経営改善計画書の策定支援や事業再生のアドバイスを行うなど、より実効性の高い支援に取り組ましました。
- 事業の悩み、課題解決の一助として、岩手県よろず支援拠点との合同相談会をテレビ会議で開催し、令和2年度は37事業先の相談を受けました。
- 経営者保証に関するガイドライン研究会が公表した「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた「経営者保証に関するガイドライン」の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者の保証を免除する、または経営に関与しない第三者の方の保証は求めない等の対応に努めています。今後もガイドライン等の趣旨を踏まえ、適切に対応するとともに、担保・保証に過度に依存することなく、企業価値や将来性を重視した融資に積極的に取り組んでまいります。なお、令和2年度において、新規に無保証で融資した件数は689件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は38.5%、保証契約を解除した件数は24件、当金庫をメイン金融機関とした保証債務整理の件数は2件でした。

経営支援力の向上

- お客さまの資金繰り改善支援や事業再生支援、目利き力向上等のコンサルティング機能の発揮に向けて継続的に研修会を行っています。
- 令和2年度は、独立行政法人中小企業基盤整備機構からオブザーバーを招いて「事業承継フィードバック研修」を実施し、お客さまの事業承継に対するサポート力の向上を図りました。また、東北経済産業局から講師を招いて「中小企業支援施策説明会」を実施し、国の支援施策を活用した中小企業支援スキルの向上を図りました。
- 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターが主宰する「地域イノベーションアドバイザー塾（RIAS）」へ当金庫職員を塾生として派遣し、企業経営と事業革新に関する知識や支援に必要な実践的なスキルを習得、「地域イノベーションアドバイザー」の資格を取得し、お客さまの革新的事業の創出に向けた支援を行っています。

○投資先の紹介

【もりおか起業ファンド】

びたデジ株式会社

びたデジ株式会社（滝沢市）は、中小企業にフィットするIT・クラウド導入支援のほか、Webシステムやモバイルアプリの開発をしています。

当社が開発した請求書発行サービス「ポチッと請求」は、「freeeアプリアワード2020」にて、「副賞」・「マジ価値賞」をダブル受賞しました。本サービスは請求書や領収書を簡単操作でメール配信でき、企業の費用削減や業務負担の軽減、ペーパーレス化を実現させます。

当社の取組みは、地域企業が抱えるデジタル分野の困りごとを解決でき、売上や生産性向上、働き方改革への貢献が期待できることから、ファンドによる支援を行いました。



【もりおかSDGsファンド】

株式会社盛岡書房

株式会社盛岡書房（盛岡市）は、本を中心とした街づくりを通して雇用を創出する書店です。新刊本の販売や古本のリユース、本に関連したイベントを積極的に手掛けることで、本の好循環を生み出します。

古本は寄付によって集め、クリーニングを施して再生し、インターネットにて販売しています。その売上を原資に、書店から新刊本を購入し、小児がんや慢性疾患で長期入院する子どもたちに贈ることを構想しています。

1世帯当たりの書籍購入額が全国1位になった実績がある「盛岡」だからこそ、本を通して豊かな人間性を育み、未来をつくる人の育成や、本の文化が根付いた街づくりが可能といえます。

資源の有効利用や働きがいのある生産的な雇用を生み出し、持続可能な社会に寄与することが評価され、ファンドによる支援を行いました。



【とうぎん・もりしんアグリファンド】

株式会社アグリードいわて

株式会社アグリードいわて（二戸市）は、菌床シイタケ栽培の産地形成に取り組んでいます。菌床の培養棟4棟、栽培を行う発生舎2棟を管理しており、通年の出荷が可能です。

菌床シイタケは、おがくずとシイタケ菌を混ぜた「菌床玉」を培養棟で「完熟玉」と呼ばれる状態まで育てた後、発生舎において棒に「完熟玉」をつるす「つり棒栽培」でシイタケを栽培・収穫します。

当社は、近隣農家と共に「二戸菌床しいたけ生産組合」を設立しており、組合員への「完熟玉」の出荷も行っています。

今後、生産規模の拡大を計画しており、地域雇用の促進や就農者減少に歯止めをかけられることが期待され、ファンドによる支援を行いました。



地域経済の持続可能な発展に貢献！

○岩手県よろず支援拠点との連携

全国初の取組みとして、事業の悩み・課題解決の一助を目的に、平成26年12月から岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、これまでに延べ479事業先（令和3年3月末時点）のご相談を受けました。

よろず支援拠点では、単なる問題点の指摘や現状分析に終わらず、強みを見つけ、具体的な戦略を立て、成果に導く支援をしています。



●カスタマーボイス

伊藤 洋一（optician pomalu／オプティシャン ポマル）

「オトナのメガネセレクトショップ」というコンセプトを掲げ、令和3年1月に眼鏡店を創業。大型店では対応しきれないお客さまの細やかなニーズに応えています。

創業するにあたり、書籍等での情報では何から始めればいいのか分からず、日々創業への不安が募るばかりでした。この状況を打開するきっかけとなったのが、他県で眼鏡店を営む友人が教えてくれた「よろず支援拠点」の存在であり、「岩手県よろず支援拠点」を利用する機会へと繋がりました。

岩手県よろず支援拠点を利用することで、自分が作成した事業計画書を基に、店舗準備などの創業に係る手続きや、広告媒体の活用など販売促進に係る手法のアドバイスをいただき、その過程で盛岡信用金庫との取引も開始。専門家や金融機関職員と話す機会を得たことで、創業へのビジョンが一気に明確になっていくのを実感しました。

岩手県よろず支援拠点を利用して特に印象に残っていることは、専門家からの「事業の根幹となるコンセプトをひと言で表現できるか」という問いに対し返答に窮したことです。「明確なコンセプトを世間に提示することは、お客さまが当店をみつけるきっかけになる」ということに気づかされた瞬間でした。

私は創業への思いと改めて向き合い、時間をかけて導き出したのが「オトナのメガネセレクトショップ」というコンセプトでした。

オプティシャン ポマルは店主一人で営む眼鏡店です。今後も事業を継続していく過程で私一人では打開できない課題がでてくることと思います。これからも、岩手県よろず支援拠点の専門家の方々、そして盛岡信用金庫の支援をいただき、一人でも多くのお客さまに当店のメガネを届けたいと考えています。



○ビジネスマッチング・販路拡大支援等

「ビジネスマッチ東北」をはじめ、全国の信用金庫ネットワークを利用して、首都圏の信用金庫等が主催するビジネスフェア、物産展へ多くのお取引先企業を推薦し、県内外に向けた販路拡大の支援を通じてお取引先企業の発展に貢献しています。



東北地区

- 令和2年11月24日（リアル）
「いわて食の大商談会2020」
（岩手県、盛岡信用金庫他主催）
- 令和2年11月24日（リアル）
「もりおかマチナカ商談会2020」
（岩手県盛岡広域振興局・盛岡市農業振興連絡協議会主催）
- 令和3年3月10日（リアル・WEB）
「第15回ビジネスマッチ東北2021春」
（東北地区信用金庫協会他主催）



首都圏

県外信用金庫・団体主催「ビジネスマッチ・物産展」へ参加

- 令和2年10月30日～11月20日（WEB）
『オンライン・ビジネスフェア「しんきんフードEXPO2020」』（信金中央金庫主催）
- 令和2年11月5日・6日（リアル・WEB）
『2020“よい仕事おこし”フェア』
『WEBサイト47CLUB「信金マン推薦日本まるごと物産展」』（“よい仕事おこし”フェア実行委員会主催）
- 令和2年11月6日～令和3年6月30日（WEB）
『第21回ビジネスフェアOnline』（西武信用金庫主催）
- 令和3年3月24日～6月30日（WEB）
『ひがしんビジネスフェア2020オンライン』（東京東信用金庫主催）



○地方創生の連携に関する協定

当金庫は、地域活性化に資することを目的として、盛岡市、久慈市、二戸市、矢巾町、紫波町並びに特定非営利活動法人wizと地方創生に係る連携協定を締結しています。



盛岡市	平成28年 3月24日「地方創生の連携に関する協定」締結 平成31年 2月 6日「産業振興の連携に関する協定」締結
久慈市	平成27年 2月23日「地域経済活性化に向けた包括連携に関する協定」締結
二戸市	平成28年12月 9日「地方創生の連携に関する協定」締結
矢巾町	平成28年 5月11日「地方創生の推進に関する包括的連携協定」締結
紫波町並びに 特定非営利活動法人wiz	令和 2年 1月28日「地方創生に向けた地域人材の育成に関する協定」締結

○顧客支援等に関する連携協定

岩手県信用金庫協会と岩手県行政書士会は、令和2年12月24日「顧客支援等に関する連携協定」を締結しました。本協定は、岩手県信用金庫協会に加盟する岩手県内6金庫と岩手県行政書士会の連携のもと、地域の活性化と産業の振興を図るため相互に協力し、地域社会の発展に寄与することを目的としています。



●主な活動内容

- (1)個人ならびに中小企業等の支援および地域産業振興のために必要な事項
- (2)岩手県行政書士会に所属する会員の派遣、各種相談への対応に関する事項

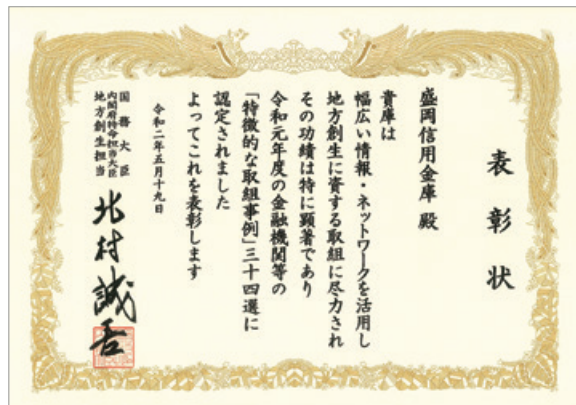


○新現役交流会2.0への参画

当金庫は、金融庁を含めた5省庁と、岩手・宮城・福島の3県の金融機関および民間事業者が連携して実施した「新現役交流会2.0」に参画しました。

本企画は、東北3県の中小企業における人材面での経営課題の解決に向けて、大企業等で経験豊富な人材であるマネジメントメンター（新現役）との出会いの場を創造する取組みです。

この取組みは、令和元年度地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」34選に認定され、令和2年5月に表彰を受けました。



賑わいのあるまちづくりの実現を目指して！

○もりしん「地域見守り協力隊」

もりしん「地域見守り協力隊」の活動は、日常生活および通常業務の中で、子ども・女性・高齢者を含む、地域で生活するすべての住民が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自治体、警察署並びに消防署等関係機関との連携協力を図り、不測の事態を未然に防ぎ、地域の安心・安全を見守りおよび支援する「良き企業市民」としての役割を果たすことを目的としています。

これまでに、盛岡市をはじめ8市町と協定を締結し活動しています。



盛岡市

盛岡市	令和 2年 7月 8日	「地域において支援を必要とする者の把握に関する協定」締結
滝沢市	令和 2年11月 2日	「地域見守り協力に関する協定」締結
矢巾町	令和 2年11月 4日	「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
二戸市	令和 2年12月 2日	「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
八幡平市	令和 2年12月23日	「八幡平市高齢者等見守りネットワーク事業に関する協定」締結
遠野市	令和 3年 1月26日	「地域見守り活動に関する協力協定」締結
紫波町	令和 3年 2月17日	「紫波町における地域の安全・安心と活性化に関する連携協定」締結
久慈市	令和 3年 3月 9日	「久慈市地域見守り協力事業に関する協定」締結



○「東北・夢の桜街道」運動

東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道」運動は、日本で最も愛されている美しい“桜”を東北復興のシンボルに掲げ、「桜の札所・八十八カ所、番外編二十カ所」として選定された東北6県の桜の名所を、東北復興への祈りを捧げながら巡る観光スキームです。

○第8回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」

「東北・夢の桜街道」運動の一環として、平成25年の春から、子どもたちに自然を大切にできる心・郷土を愛する心を育み、子どもたちが心豊かでたくましく成長することを願い、盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」を開催しています。

第8回目となる令和2年春のコンクールには、865点の作品を17校の児童よりご応募いただき、内18点を受賞作品として選定しました。

令和2年8月8日～14日の期間中、パルクアベニューカワトク店7階ロイヤルルーム、桜の藩跡地広場を会場に、第8回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」応募作品展示会を開催し、小学生の絵画と併せ幼稚園・保育園の園児が制作した桜の「貼り絵」を展示しました。

令和3年3月15日～5月17日の期間中、盛岡駅南北自由通路「わんこロード」を会場に、第8回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」入賞作品展示会を開催しました。



第8回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」
【盛岡信用金庫理事長賞】
桜を描いた場所：市役所うらからごぞ九をながめて

岩手大学教育学部附属小学校3年生
竹内 敦海さん



○第34回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」

平成26年度から岩手県野球協会が主催する「岩手県学童軟式野球選手権大会」へ特別協賛しています。

第34回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」は、令和2年8月1日・2日・8日・10日・11日の日程で、雫石町宮野球場と雫石町菅鶯宿グラウンドA・B・C他を会場に開催されました。

本大会は、岩手県下より各地区の予選を勝ち抜いたスポーツ少年団32チームが出場し、ファイトあふれるプレーが繰り広げられました。



【優勝】洋野ベースボールクラブ（九戸郡代表）

○「第34回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会」

「第34回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会」が、令和2年10月10日・11日、九戸村ナインズ球場を会場に開催されました。

本大会は、二戸地区から選抜されたスポーツ少年団8チームが出場し、ファイトあふれるプレーが繰り広げられました。



【優勝】二戸ベースボールクラブスポーツ少年団（二戸信友会）

○第4回「もりしん愛の献血運動2020」 ～6月15日は信用金庫の日～

昭和26年（1951年）6月15日に「信用金庫法」が公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定め、全国の信用金庫が毎年地域に密着した取り組みを実施しています。

当金庫では、令和2年6月～令和3年2月の期間中、第4回「もりしん愛の献血運動2020」を実施し、役職員とその家族が献血をしました。



○文化事業の開催

もりしんスペシャル「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合!」へ特別協賛しました。

本企画展は、「だるまちゃん」シリーズをはじめ、日本中の子もたちに親しまれる絵本を数多く残した絵本作家かこさとし氏の、絵本の原画や下絵の他、貴重な資料等が展示されました。



○もりしんマネースクール（出前授業）

平成20年度より、地域の小学校を訪問し「お金の使い方や金融機関の仕事」について学ぶ「マネースクール」を開催しています。

令和2年度は小学校2校6クラス、182名の児童を対象に開催しました。



●令和2年度開催校

- 盛岡市立桜城小学校
（令和2年12月）
5年生2クラス 57名参加
- 盛岡市立仙北小学校
（令和3年1月）
5年生4クラス 125名参加



会 期：令和2年12月12日～令和3年1月31日
会 場：盛岡市民文化ホール・展示ホール

○中学生職場体験学習

職場体験・就労体験を通じ、その職業の魅力、社会人に求められることや働くことの大切さ、職業選択の考え方などを学ぶ総合学習の一環として、平成27年度より中学校13校96名の生徒を対象に実施しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止となりました。



○サークル活動

「もりしん懇話会」

事業経営者の異業種交流・親睦を深めることを目的として、各営業店単位で組織しています。

講演会、親睦会などを開催しており、気軽に情報交換ができる場として好評を得ています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて定例総会を书面議決にて開催しました。

「ゴールデンサークル」

お取引いただいているお客さまの中で、ゴルフを楽しまれる方々のサークルです。

プレーを通じ親睦を深め、交流を広げていただいています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止策を講じて開催しました。

開催日：令和2年9月29日／南部富士カントリークラブ／189名参加

「もりしん年金友の会」

当金庫で年金をお受け取りいただいているお客さまや、年金振込のご予約をいただいているお客さまのサークルです。定期預金の金利優遇や、年金受給中の方にはお誕生日プレゼントの特典があります。

例年観光・宿泊旅行を実施していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて中止としました。



もりしんは地域の環境保全に積極的に取り組んでいます

○「紫波企業の森づくり」 森林環境保全活動



森林を整備し、水源涵養など森林の公益的機能の向上を目的として、平成23年11月、紫波町と「紫波企業の森づくりに関する協定」を締結しました。

本活動は、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、平成24年から令和8年までの15年間にわたり実施します。

森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより地域内のエネルギーとして活用されます。

第9回目となる紫波企業の森づくり「もりしん共存同栄の森」森林環境保全活動は、令和2年10月24日に入庫1・2年目の若手職員25名が参加し、ラ・フランス温泉館の再生可能エネルギー設備の見学とクヌギの苗木60本を植樹しました。



○「八幡平松尾鉱山跡地」 森林再生活動



平成20年度より、荒廃裸地化した鉱山跡地を森林に戻そうと八幡平松尾鉱山跡地に「友情の森」と名付け、森林再生活動に取り組んでいます。これまでに植樹した苗木は1,000本を超え、最初に植樹した苗木は9m超の樹木に成長したのもあり、少しずつ森が形成されています。



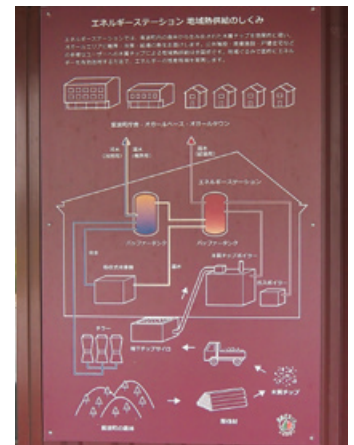
○「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援



再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進・支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

自治体等への提案を行い地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として地域外へ流出していた資金を地域内で循環させていくエネルギー版「地産地消方式」を積極的に促進しています。これにより、新たなビジネス・雇用を創造すると共に地域の活性化を目指しています。

なお、紫波中央駅前の再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅へ木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うための、エネルギーステーション建設計画を支援しました。また、森林整備を行い、生じた間伐材は地域の公共温泉施設等でチップボイラーの燃料として使用されます。



○お客さまのために

お客さまにご満足いただける商品・サービスを提供するために、店頭・ATMコーナーに「ご意見箱」を設置し、お客さまのご意見・ご要望をお寄せいただいています。また、アンケート調査を実施し、サービスの向上・改善に取り組んでいます。

○サービス向上・改善に向けた具体的取組み

お客さまからのご意見やご要望をもとに、これまで取組んでまいりました主な施策を紹介させていただきます。



●「拡聴器」を各営業店窓口を設置



●「杖ホルダー」を各営業店窓口を設置



●「コミュニケーションボード」「筆談ボード」を各営業店窓口を設置



●ATMは全台「視覚障がい者対応ATM」を導入



●ATMを利用した特殊詐欺被害の防止を目的とした「注意喚起マット」を設置



●本店駐車場に「障がい者用駐車スペース」を設置

○お客さまに安心してご来店いただくために

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当金庫ではお客さまに安心してご来店いただくよう取組みをしています。



●「消毒ステーション（センサー式消毒液噴射器）」の設置

営業店・本部入口に「消毒ステーション（センサー式消毒液噴射器）」を設置しています。



●飛沫感染防止アクリル板「プロテクト・プレート」の設置

営業店窓口飛沫感染防止アクリル板「プロテクト・プレート」を設置しています。



●「次亜塩素酸」での消毒（清掃）

窓口カウンター、記帳台、応接室、ATM操作パネル、自動ドア開閉ボタン、ロビーの椅子等、不特定多数の方がご利用される場所において「次亜塩素酸」による消毒（清掃）を行っています。



各種手数料のご案内

振込手数料

●窓口振込

		当店あて	当金庫本店	他金融機関あて
3万円未満	1件	330円	330円	660円
3万円以上	1件	550円	550円	880円

●ATM振込 (当金庫のカード)

		当店あて	当金庫本店	他金融機関あて
3万円未満	1件	無料	110円	440円
3万円以上	1件	無料	330円	660円

●ATM振込 (現金・他金融機関のカード)

		当店あて	当金庫本店	他金融機関あて
3万円未満	1件	220円	220円	550円
3万円以上	1件	440円	440円	770円

●インターネットバンキング (IB)・テレホンバンキング

		当店あて	当金庫本店	他金融機関あて
3万円未満	1件	無料	110円	330円
3万円以上	1件	無料	330円	550円

●ファームバンキング (FB)・ホームバンキング (HB)

		当店あて	当金庫本店	他金融機関あて
3万円未満	1件	無料	110円	440円
3万円以上	1件	無料	330円	660円

●為替自動振込手数料

		当店あて	当金庫本店	他金融機関あて
3万円未満	1件	無料	330円	660円
3万円以上	1件	無料	550円	880円

ATM利用手数料 (カードによるお引出・お振込)

		当金庫カード	他金庫カード	他金融機関カード
平日	8:00~8:45	110円	110円	220円
	8:45~18:00	無料	無料	110円
	18:00~21:00	110円	110円	220円
土曜日	8:00~9:00	110円	110円	220円
	9:00~14:00	無料	無料	110円
	14:00~21:00	110円	110円	220円
日曜日・祝日	8:00~21:00	110円	110円	220円

※当金庫カードによるお振込は無料といたします。

当座関連手数料

		冊数	金額
小切手	帳	1冊	660円
約束手形	帳	1冊	330円
為替手形	帳	1冊	330円
専用当座預金開設料	口座	1口座	3,300円
専用当座発行手数料	枚	1枚	550円
自己宛小切手発行手数料	枚	1枚	550円

送金手数料

		他金融機関あて
送金小切手	1件	660円

地方税納付取次手数料

		金額
地方税 (岩手県外の地方税の窓口納付)	納付書1枚につき	550円
国民健康保険料、下水道事業料、介護保険料等 (地方税と同様の取扱いのものを含む)		

IB・FB・HB月額基本手数料

		金額
インターネットバンキング (IB)	個人	無料
	法人	3,300円
ファームバンキング (FB)		3,300円
ホームバンキング (HB)		1,100円

給与振込取扱手数料

データお取扱い方法	IB・FB	DVD	総合振込依頼書
当金庫内		無料	
他行庫あて	2営業日前迄にお手続きされた場合 前営業日・当日	110円 / 220円	330円

通常の為替手数料を申し受けます。

代金取立手数料

		当金庫内	他金融機関あて
同地内	1通	220円	220円
他所	1通	—	至急扱い 1,100円 通常扱い 660円
	1通	440円	至急扱い 1,100円 通常扱い 660円

※当金庫同一店舗内の取立は無料といたします。

※個別取立をご希望の場合は、盛岡手形交換所地内の場合でも他所と同額の手数を申し受けます。

両替・金種指定戻戻手数料

両替枚数	金額
100枚以下	無料
101枚~500枚	440円
501枚~1,000枚	550円
1,001枚~2,000枚	880円
以降1,000枚ごと加算	330円

大量硬貨入金手数料

硬貨入金枚数	手数料
300枚以下	無料
301枚~500枚	440円
501枚~1,000枚	550円
1,001枚~2,000枚	880円
以降1,000枚ごと加算	330円

摘要入力手数料

項目	手数料
摘要入力手数料 (伝票1枚あたり)	55円

手形組戻、振込訂正・組戻関連手数料

		金額
振込・送金の組戻手数料	1件	660円
振込訂正手数料	1件	550円 (同一店舗内は無料)
取立手形組戻手数料	1件	660円
取立手形店頭呈示料	1件	660円
不渡手形返却料	1件	660円

但し、別途費用が発生する場合はその実費を申し受けます。

信託契約代理業務事務取扱手数料

		金額
口座開設時		33,000円

夜間金庫・貸金庫手数料

		金額
夜間金庫 年間手数料	1口座	39,600円
夜間金庫 専用伝票	1冊	4,400円
貸金庫 年間手数料	1口座	6,600円

融資関連手数料

		金額
不動産担保 事務取扱手数料	新規設定 極度額または債権額1,000万円未満 極度額または債権額1,000万円以上5,000万円未満 極度額または債権額5,000万円以上	11,000円 22,000円 33,000円
	追加担保・一部放棄・極度額変更・順位変更・債務者変更・譲渡等変更の都度 遠隔地 (当金庫営業区域外) 不動産担保 調査手数料 (融資案件1件につき)	5,500円 55,000円
	不動産権利証 (登記識別情報通知)	新規取扱 債権額1,000万円未満 債権額1,000万円以上5,000万円未満 債権額5,000万円以上
預かり管理手数料	追加・釈放の都度 遠隔地 (当金庫営業区域外) 不動産担保調査手数料 (融資案件1件につき)	5,500円 55,000円
	一部繰上返済 全部繰上返済 (返済元金が当初貸出金額の1/3未満の場合) 全部繰上返済 (返済元金が当初貸出金額の1/3以上の場合)	3,300円 5,500円
条件変更手数料 (証書貸付金)	返済方法変更・期限延期・債務者変更・保証人変更・金利変更 (固定→変動、変動→固定を含む) (債務者変更・保証人変更は死亡によるものを除く)	5,500円
住宅ローン 取扱手数料	商品ごとに設定 無担保住宅ローン (築・最速型) ※借入金額500万円以上 もりしん住宅ローン (築) [建役者] もりしん住宅ローン (築宅・築引)	11,000円 33,000円 55,000円~ 220,000円
	住宅ローン繰上 返済手数料 (固定金利期間選択中) 住宅ローン金利選択変更手数料 保証書発行手数料	一部繰上返済 全部繰上返済 (残高100万円未満の場合) 全部繰上返済 (残高100万円以上の場合) [築] [建役者] [築宅・築引] について商品ごとに設定
融資予定証明書発行手数料		5,500円
事業者カードローンカード発行手数料 (口座開設時に受領し、新規回収による期限更新時は不要)		1,100円

その他発行手数料

		金額
再発行 (CDカード・ローンカード・通帳・証書)	1件	1,100円
残高証明書・利息証明書発行 (証明書1通)	都度依頼	440円
	自動発行	220円
	定形外	2,200円

預金調査手数料

		金額
照会手数料	1件	550円
コピー代	1枚	22円

でんさいサービス手数料

		金額
債務者利用契約		1,100円 (※)
債権者利用限定特約		無料

※法人インターネットバンキングをご契約のお客さまは無料といたします。

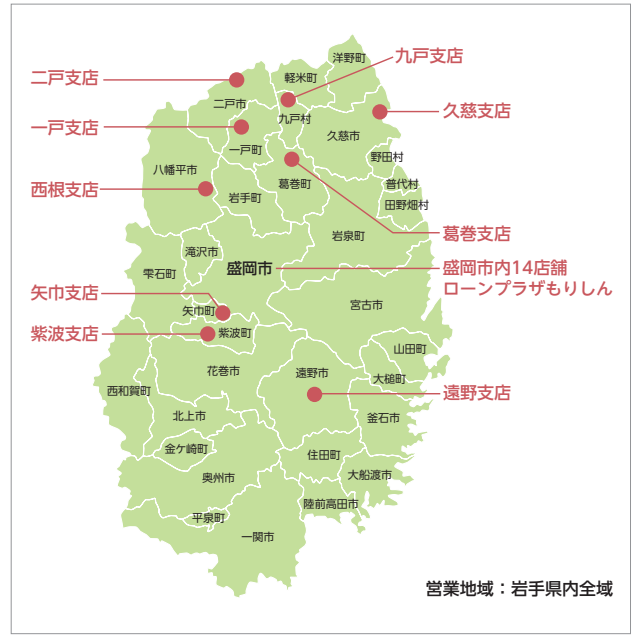
		インターネット	窓口
各種記録手数料 (1件につき)			
発生記録		330円	660円
譲渡記録		330円	660円
分割譲渡記録		330円	660円
保証記録		110円	550円
変更記録 (債権内容の変更)		110円	550円
支払等記録 (口座間送金決済以外)		110円	550円
決済		220円	
口座間送金決済中止		—	550円
変更記録 (債権内容の変更)		—	2,200円
特例開示		—	3,300円
支払不能情報照会		—	3,300円
残高証明書 (都度発行)		—	4,400円
残高証明書 (定期発行)		—	1,980円
貸倒引当金繰入事由にかかる証明書		—	1,980円
取引停止処分証明書		—	1,650円

※決済手数料は、でんさい受取企業にかかります。

(注) 記載の金額には消費税相当額が含まれています。(令和3年7月1日現在)

●店舗インフォメーション・キャッシュサービスコーナー (ATM) (令和3年7月1日現在)

店舗所在地			店内キャッシュサービスコーナー
店舗名	所在地	電話	平日ご利用時間 土・日ご利用時間 祝日ご利用時間
本店	盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号	(019) 623-2221	8:00~21:00
仙北町支店	盛岡市仙北一丁目14番11号	(019) 636-0022	
材木町支店	盛岡市材木町6番6号	(019) 623-6277	
大通支店	盛岡市大通一丁目6番15号	(019) 623-6227	
本町支店	盛岡市本町通一丁目9番26号	(019) 623-6257	
青山町支店	盛岡市青山三丁目30番1号	(019) 647-1181	
厨川支店	盛岡市厨川一丁目10番5号	(019) 641-1185	
都南支店	盛岡市津志田中央二丁目1番5号	(019) 638-3535	
高松支店	盛岡市高松四丁目1番10号	(019) 661-8136	
山岸支店	盛岡市山岸二丁目12番22号	(019) 652-5911	
松園支店	盛岡市松園一丁目20番25号	(019) 662-0101	
天昌寺支店	盛岡市北天昌寺町5番5号	(019) 646-7441	
東支店	盛岡市中野一丁目21番6号	(019) 624-6465	
みたけ支店	盛岡市みたけ四丁目4番16号	(019) 641-1330	
紫波支店	紫波郡紫波町日詰字郡山駅236番地1	(019) 676-2141	
矢巾支店	紫波郡矢巾町大字又兵衛新田7地割194番地1	(019) 697-8800	
西根支店	八幡平市大更第23地割98番地3	(0195) 76-2611	
久慈支店	久慈市中央二丁目1番地	(0194) 53-3281	
遠野支店	遠野市中央通り1番17号	(0198) 62-3247	
二戸支店	二戸市福岡字中町15番地	(0195) 23-2141	
一戸支店	二戸郡一戸町一戸字向町18番地の1	(0195) 33-3141	
葛巻支店	若手郡葛巻町葛巻第12地割11番2字下町	(0195) 66-3311	
九戸支店	九戸郡九戸村大字伊保内第10地割10番地1	(0195) 42-2141	



営業地域：若手県内全域

ローンプラザもりしん (六日町本部)	盛岡市下ノ橋2番14号	☎0120-160-656	窓口営業時間	平日 (土日、祝日、12月31日~1月3日を除く) 9:00~17:00
--------------------	-------------	---------------	--------	---

●店舗外キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
中ノ橋106ビル			
六日町			
ニットー			
滝沢市役所			
イオンモール盛岡南		8:00~21:00	
ビッグハウス菓子			
アクロスプラザ盛岡みたけ			
二戸駅前			
二戸中央			
二戸市役所浄法寺総合支所			
紫波町役場		8:00~20:00	
盛岡市役所都南総合支所		10:00~15:00	
流通センター (ラポール盛岡内)	8:00~19:00	土曜8:00~17:00	*
一戸町役場		土曜8:00~19:00	
マリオス	9:00~18:00		*
ホームマック西根店		9:00~20:00	
ペルフまつぞの			
ユニバースサントウン松園店			
ショッピングコートみたけ		9:00~21:00	
盛岡南ショッピングセンターサンサ			
ホームマックスパーデポ盛南店			
パルクアベニュー・カワトク		10:00~19:00	
ニコア		10:00~20:00	

●共同利用キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
盛岡地区共同庁舎	8:00~18:00		
八幡平市役所	8:00~21:00		*
盛岡駅			
岩手医科大学トクダヴェール		8:00~21:00	
ユニバース久慈SC店			
葛巻町役場	8:00~19:00	土曜8:00~19:00	*
盛岡市役所	9:00~17:30		*
盛岡南ショッピングセンター			
一戸ショッピングセンター		9:00~20:00	
ビッグハウス川久保店			
イオンモール盛岡		9:00~21:00	
アネックス・カワトク		10:00~19:00	

- ご入金について
当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫・ゆうちょ銀行・信用組合・労働金庫・一部の第二地方銀行のキャッシュカードによるご入金ができます。
(現金の「入金」と同じ手数料がかかります。提携を行っていない金融機関がございますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。)
- お振込について
当金庫のキャッシュカードは、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュサービスコーナーで「お振込」ができます。
また、当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュカードによる「お振込」ができます。〔振込手数料〕と〔ATM利用手数料〕がかかります。
- 手数料について
平日8時から8時45分、18時以降と土曜日8時から9時、14時以降及び、日曜日、祝日のご利用は延長手数料110円がかかります。
全国の信用金庫間の手数は、平日8時45分から18時まで、土曜日9時から14時までは無料となります。(土曜日は、一部の信用金庫で終日有料となります。他行設置の共同利用のキャッシュサービスコーナーも有料となります。)
全国のゆうちょ銀行、銀行などのキャッシュサービスコーナーでもご利用いただけますが、手数料の金額が異なる場合がありますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。



天皇賜杯第75回全日本軟式野球大会全国大会に出場した当金庫野球部



ディスクロージャー誌（資料編） の閲覧に係るご案内

ディスクロージャー誌（資料編）は、当金庫のホームページ（下記のウェブサイト）からご覧いただけます。なお、インターネットに接続できる機器（パソコン、スマートフォン等）をお持ちでないお客さまは、当金庫職員までご相談ください。

- 当金庫のウェブサイト
（ディスクロージャー誌の掲載ページ）

<http://www.morishin.co.jp/about/?id=disclo>

※なお、スマートフォン等からは、
こちらでもアクセスすることができます。



盛岡信用金庫

ディスクロージャー2021・盛岡信用金庫の現況
〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-4-6
TEL 019-623-2221
URL <http://www.morishin.co.jp/>

